

2024年2月17日

2024年度
城西大学大学院経営学研究科
第二次入学試験問題
小論文及び基礎学力検査（90分）

注意事項

1. 試験開始の合図があるまで、この問題を開かないでください。
2. 問題冊子は本紙を含めて6枚、解答用紙は4枚です。ページの脱落等に気づいた場合には、手を挙げて監督者に知らせてください。
問題・解答用紙の汚れ等に気づいた場合にも、同様に知らせてください。
3. 解答は、すべて解答用紙に記入してください。
4. 監督者の指示にしたがって、解答用紙の1枚目に受験番号・氏名を記入してください。
5. 解答にあたっては、電卓や携帯電話などの電子機器は使用しないでください。
6. 試験終了後、問題冊子は持ち帰ってください。

2023 経営学研究科

問題 I 次の文章のカッコ内に最も適当と思われるものを、下の枠内の用語から1つ選んで、その番号を解答欄に記入しなさい。(20点)

- (A) とは、先進国と発展途上国の間で行われる分業である。
- (B) とは、自社の経営環境を整理するために用いられるフレームワークで、「強み」、「弱み」、「機会」、「脅威」を分析するために用いられる。
- (C) とは、他の企業を買収・合併することである。
- (D) とは、企業が利益追求、法令遵守だけでなく、あらゆるステークホルダーの多様な要求に対し適切な対応をとる義務があることを示す。
- ふるさと納税は、所得税の (E) の仕組みを利用した制度である。
- (F) とは、定額料金を支払うことで、商品やサービスを継続的に購入・利用するビジネスモデルのことである。
- (G) とは、ロナルド・コースとオリバー・ウィリアムソンが発展に貢献した理論で、組織間の取引で発生するコストを最小化する形態やガバナンスを見出すことが目的である。
- (H) とは、複数の国に子会社や系列企業を置き、利潤最大化するように活動する企業である。
- (I) とは、民間銀行が中央銀行に預け入れる政策金利を0%よりさらに下げ、マイナスにすることである。
- 日本の場合、社会保障制度は (J)、公的扶助、社会福祉、公衆衛生をいう。

用語

- | | | | | | |
|-------------------------|---------------|-----------------|----------------------|--------------|-------|
| 1. マイナス金利 | 2. IoT | 3. 水平的分業 | 4. CSR | 5. ディスクロージャー | 6. EU |
| 7. インフレーション | 8. 垂直的分業 | 9. 限界効用理論 | 10. 保護主義 | | |
| 11. 社会保険 | 12. NATO | 13. 多国籍企業 | 14. 租税回避地 (タックスヘイブン) | | |
| 15. SWOT 分析 | 16. プライムレート | 17. マイナス金利 | | | |
| 18. IMF | 19. ソサエティ 5.0 | 20. ブルー・オーシャン戦略 | | | |
| 21. EV シフト | 22. キャッシュフロー | 23. 取引費用理論 | | | |
| 24. クラウドファンディング | 25. ゼロ金利 | 26. 寄付金控除 | | | |
| 27. サブスクリプション (定額制サービス) | 28. M&A | 29. EPA | 30. シェアリングエコノミー | | |

問題Ⅱ 次の英文を読んで設問に答えなさい。

(30点)

著作権の都合により掲載しておりません。
ご不便をおかけしますことをお詫び申し上げます。

(出所：NIKKEI Asia January 17 より抜粋)

(注)

pre-pandemic	(新型コロナ) 大流行前の
restrictions	制限、制約
ties	結びつく
currency	通貨
afford	余裕がある
contributor	貢献者
momentum	勢い、推進力
souring	難しくなること
exceed	超える
robust	堅調な、強固な
pent-up demand	繰越需要
subsides	低下する

設問 1 下線部(1)の理由を本文に即して2つ挙げなさい。

設問 2 下線部(2) に関する以下の a.~d.の文章について、本文の内容と合っている場合は ○ 、誤っている（または、誤っている部分が含まれる）場合には × を解答欄に記入しなさい。

- a. 韓国は日本に 695 万人の観光客を送り込んだ。これは韓国の海外旅行者の旅行先の 28%を占める。
- b. 韓国からの観光客は 2019 年よりも 25%多く、すべての国の中で最多だった。
- c. シンガポール人観光客は、円安の影響により 20%増の 59 万 1300 人となった。
- d. インドネシア、ベトナム、フィリピンからの訪問者は、すべて 4 年前と同様の人数だった。

設問 3 下線部(3)について、日本語に訳しなさい。

設問 4 下線部(4)中国に関する以下の a.~c.の説明について、本文の内容と合っている場合は ○ 、誤っている（または、誤っている部分が含まれる）場合には × を解答欄に記入しなさい。

- a. 現在でも日本のインバウンド観光に最も貢献している。
- b. 観光客減少の理由の一つは、日本経済の減速である。
- c. 観光客減少の理由の一つは、日本による福島第一原子力発電所からの処理済み廃水の海洋放出をめぐる関係の悪化である。

設問 5 下線部(5)について、日本語に訳しなさい。

設問 6 下線部(6)について、本文の内容を踏まえて、80 字程度であなたの考えを述べなさい。

設問 7 本文の内容をわかりやすく伝えるためのタイトルを 30 字程度で考えなさい。

問題Ⅲ あなたの希望する研究テーマについて、具体的な事例などに関連付けて、300字程度で論じなさい。（50点）

2024 年度
城西大学大学院経営学研究科
第二次入学試験解答用紙

受験番号

氏名

問題 I

A	B	C	D	E
F	G	H	I	J

問題Ⅱ

(1)

--

(2)

a.	
b.	
c.	
d.	

(3)

--

(4)

a.	
b.	
c.	

(5)

--

(6)

80

120

(7)

30

40

